

助産学総論

更新日：2021/02/28 14:54:49

開講年度	2021	学期	通年	シラバスコード	87010		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	870100
担当教員	永松美雪						
学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

日本と世界の助産の歴史と文化、助産師教育の変遷、助産師の機能と役割、助産師の法的責務、リプロダクティブヘルス、性と生殖にかかわる倫理問題について学ぶとともに、自律した専門職としての助産師のあり方について考察する。

到達目標

1	日本及び世界の助産の歴史と助産師の職業の歴史を述べるができる
2	助産や助産師の定義や役割・機能について述べるができる

DPとの関連

DP6（助産）◎

DP7（助産）○

DP8（助産）○

授業計画

1	助産とは 【授業内容】助産の定義、範囲、対象 【授業方法】講義 【担当】永松
2	日本の助産の歴史 【授業内容】古代から江戸時代、明治～昭和時代の助産の変遷 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
3	日本の母子保健の動向 【授業内容】母子保健の歴史、母子保健の動向と諸制度 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
4	世界の助産の歴史 【授業内容】諸外国の助産の歴史（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
5	世界の母子保健の動向 【授業内容】諸外国の母子保健の歴史、母子保健の動向と諸制度（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
6	助産の概念と助産師の定義 【授業内容】助産の概念、助産に関係する概念、助産師の定義 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
7	助産師の業務 【授業内容】助産師の業務・責務と助産活動の法的根拠、助産師の今後の展望と課題 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
8	日本の助産師職能団体の役割 【授業内容】日本助産師会や日本看護協会などの役割 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
9	国際的な助産師職能団体の役割 【授業内容】ICM、WHO、FIGO、UNICEF などの役割 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
10	ICM が示す助産師の能力 【授業内容】ICM が示す助産師の能力 【授業方法】発表・討議 【担当】永松

11	助産師が行うケアの理念 【授業内容】助産師が行うケアの理念 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
12	助産に関する政策 【授業内容】助産に関する政策 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
13	助産学を支える理論と研究 【授業内容】助産学を支える理論と研究 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
14	助産と育児に関する文化 【授業内容】日本と諸外国における助産と育児に関する文化の比較検討（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
15	助産師教育 【授業内容】日本と諸外国における助産師教育の比較検討（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議 【担当】永松

学習方法

助産や助産教育の歴史をふまえて、助産師の役割・機能について実践と関連付け、自律した助産師の在り方について考え、助産の展望を検討する。また、専門職業人として安全で満足できる助産ケアの基盤となる考え方を学ぶ。授業は、講義と事前学習した内容の発表・討議で進める。講義資料、発表資料、学習ノートなど学習の成果物を綴じたポートフォリオを授業終了後に提出する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子 武谷雄二編集：助産学概論，第5版．医学書院，2015．
福井トシ子編：助産師業務要覧 基礎編，第3版．日本看護協会出版会，2021

参考文献

青木康子 編：新助産学シリーズ 助産学概論．東京，青海社，2016．
山本あい子編：助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論．東京，日本看護協会出版会，2021．
吉沢豊予子 編：助産師基礎教育テキスト 第2巻 ウイメンズヘルスケア．東京，日本看護協会出版会，2020．
成田伸 編：助産師基礎教育テキスト 第3巻 周産期における医療の質と安全．東京，日本看護協会出版会，2016．
永田雅子：妊娠・出産・子育てをめぐるこころのケア：親と子の出会いからはじまる周産期精神保健．京都，ミネルヴァ書房，2016．

評価方法

授業参加度（20%）、発表・資料（40%）、ポートフォリオファイル（40%）